

『マクギーのフィジカル診断学 原著第4版』正誤表

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

本書に以下の誤りがございました。訂正させていただきますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

2019年6月11日

診断と治療社 編集部

該当箇所	誤	正
107頁 左段最後の行	Chapter75	Chapter45
111頁 右段下から3～4行目	直腸温は平均して口腔温より0.4～0.6℃高く、腋窩温より0.1～0.2℃高くなる。	直腸温は平均して口腔温より0.4～0.6℃高い。口腔温は腋窩温より0.1～0.2℃高い。
114頁 右段21行目	熱中症患者の91%は有意な高体温（40℃以上）を示し	熱射病患者の91%は有意な高体温（40℃以上）を示し
122頁 左段最初の行	低酸素がCO ₂ への過換気を誘発するためであるが	低酸素がCO ₂ への過敏性を誘発するためであるが
125頁 右段30行目	四肢麻痺患者の腹壁は吸気時に外側ではなく内側へと動く	四肢麻痺患者の腹壁は吸気時に内側ではなく外側へと動く
126頁 右段4行目	この仮説は実験的に証明されていない	この仮説は実験的反証されている